

## データ入稿に関しては、イラストレーター(アウトライン済・CMYKモード)にてお願いします。

(アウトライン済みのPDFも合わせてお送り下さい)

### ■納品までの流れ



### ①UVオフセット印刷について

オリジナル印刷紙コップの印刷方式は『UVオフセット印刷』で行われますので、仕上がりに関しては、ポスターレベルの印刷表現が可能です。表現性豊かなオフセット印刷は、写真画像や繊細なグラデーションをはじめ、JAN・QRコード等細かいデザインにも対応し、高級感のある仕上がりとなります。

### ②使用原紙・色の表現性について

通常、印刷用で使用される紙にはクレイコート(印刷適正を向上させる為の下地)が付加されています。しかし紙コップの場合、食品容器として作られる為に紙自体にクレイコートが付加されていない為、アート紙のようなツヤは出ず、仕上りは若干マットな仕上りとなります。

また、アート紙やコピー紙に含まれる蛍光染料(紙を白く見せるために混ぜる染料)は食品用の紙には食品衛生法により禁じられており、使用していないため、原紙自体の色合いが生成り色となります。  
※、コピー紙、アート紙への印刷仕上りに比べまして、赤みが強く出る場合がございます。

#### ●特色をご希望の場合(色の掛け合せが無い場合)

PANTONEでのカラーチップNoのご指定が可能です。



#### ●印刷範囲

紙コップ底部より2~3mm程度を除き、外面全面に印刷が可能です

赤部分印刷不可



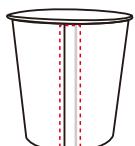
#### ●打抜ズレ・成形ズレ・印刷ピンホール(紙粉)

印刷後、紙コップの形(扇形)切取時、紙コップの形に成形時に若干のズレが発生します。その為、コップ側面貼合紙部に一周続く線や帯、貼合部に合わせる等のデザインがある場合、ズレが発生しますので、予めご了承下さい。(参考:右図赤丸部分)

また、印刷工程でピンホールが発生する場合がございます。(ベタデザインに多く見られます)  
これは、原紙断裁、切抜き加工時に発生する紙粉が原因とされ、特に食品用原紙では全てを防ぐことが困難となります。(参考:右図青丸部分)



#### ●コールド用(両面PE)紙コップ印刷に関する注意点



水などが入った飲料の場合、紙コップの外側に結露が発生します。

外側にラミネート加工が無いHOT用カップの場合、紙が水滴を吸収し、コップ強度が低下してしまいます。

コールド用紙コップは、強度低下を防ぐ為、外側にもラミネート加工がされており水滴の吸収を防ぎ、強度を保持します。

その為、コールド用カップは、ラミネートの上に印刷となりカップ成型の際にカップ底が強く加圧され、印刷が削れる場合がございます。

### ③校正印刷後の調整について(プロセス4色・掛け合せ等がある場合)

校正印刷を進行する場合、印刷する為の版を作ります。

版はお客様より頂いたデータに手を加えず、そのまま状態(設定された色の構成比率等)で忠実に印刷版に製版されます。

写真等のプロセス4色、または色の掛け合せがある場合、一度版を作成しますと、部分的に色を濃く、薄くなどの

細かい調整が不可となり、全体的に明るく・暗く等の調整のみとなります。(再版を除く)

※、校正印刷時は展開した状態での確認となります。

### ④納期・納品後の対応

最終的なご発注指示を頂きましてから、約4~5週間程度でご指定場所へ納品となります。(連休時期を除きます)

各工程を始め、配送・納品に関しては、十分注意するよう関係各所に指示をしておりますが、

万が一、製品に破損等がございましたらご連絡頂きたくお願い申し上げます。